

平成28年度 旭川市地域まちづくり推進協議会 事業実施状況

平成29年3月31日現在

地域	協議回数	補助区分	事業名	事業実施団体	事業費総額	補助金額	事業実施内容など	事業に参加した地域住民の人数
中央・新旭川	5	主体	地域の居場所づくり事業	地域の居場所づくり推進委員会	61,549	61,549	地域の福祉や生活向上に資することを目的に、地域の様々な住民に対し交流や集いの場の提供など「地域の居場所づくり」を進めるため、地域住民の意識の醸成や新たな担い手の確保を目指し、新旭川地区でフォーラムを開催した。(3/18、地域住民63名参加)	16名
		地域提案	中央・新旭川地域 囲碁指導棋士派遣事業	中央・新旭川まちづくり推進協議会	98,635	98,635	囲碁文化の発信と小学生の放課後活動の充実を図ることを目的として、中央・新旭川地域の4か所の留守家庭児童会等で地元棋士による「こども囲碁教室」を開催した。また、囲碁文化の啓発と児童の交流を図るため、囲碁クイズと囲碁大会からなる「こども囲碁まつり」を開催した。(こども囲碁教室:9~12月、全16回、児童延べ259名、日本棋院旭川支部延べ67名参加 こども囲碁まつり:2/6、児童22名、日本棋院旭川支部8名参加)	22名
		地域計			160,184	160,184		38名
豊岡	7	主体	豊岡まちフェスタ開催事業	豊岡まちづくり推進協議会	169,402	169,402	豊岡地域の安全・安心なまちづくりの実現に向け、地域住民のつながりを深めるため、世代間交流や地域活動の発表の場として、地域内の豊岡小学校で「豊岡まちフェスタ」を開催した。(10/23、来場者約400名、まち協委員・市民委員会等スタッフ83名、演奏・発表団体(愛豊保育園、豊岡蘭笑保育園、愛宕小学校、龍谷高校)101名、旭川大学ボランティア30名参加)	83名
		トライアル	安全安心なモデル事業	豊岡まちづくり推進協議会	68,491	68,491	昨年に引き続き、旭川大学と連携し、地域住民と学生による「地域魅力マップ」作成による居場所発掘・PRや町内会・商店街との協働事業などの実践を通じ、地域活動マニュアルを作成した。(6/18~3/30、学生延べ91名、戸別訪問取材16か所・町内会20戸)	49名
		—	豊岡ウォーキング	豊岡まちづくり推進協議会	—	—	豊岡地域の魅力を再確認するため、「豊岡ウォーキングマップ」を作成し、まち協委員や旭川大学の学生等でウォーキングしながら地域の見所を回った。(10/8、まち協委員・学生等40名参加)	13名
		地域計			237,893	237,893		145名
東光	6	主体	特殊詐欺防止講習会事業	東光まちづくり推進協議会	17,520	17,520	安全で安心なまちづくりを目指し、高齢者を対象とした特殊詐欺の被害事例を分かり易く寸劇等で説明し、被害に遭わないための対応を学ぶ講習会を実施した。(9/8、まち協委員・地域住民延べ110名参加)	15名
		行政提案 (通学合宿)	啓明通学合宿事業	啓明通学合宿実行委員会	80,062	50,000	地域による青少年の育成及び地域と地区センター、学校の連携促進を目的として地域住民・地区センター・学校の協働による通学合宿事業を実施した。また、防災課の協力により、旭川市総合防災センターの見学及び防災実習講話を併せて実施した。(8/25~27、小学生17名、実行委員30名参加)	30名
		—	東光の魅力再発見	東光まちづくり推進協議会	—	—	東光地域の魅力を再確認するため、「東光地域視察マップ」を作成し、東光まちづくり推進協議会委員がバスで地域の見所を回った。(6/9、東光まちづくり推進協議会委員10名参加)	15名
		地域計			97,582	67,520		60名
北星	7	主体	北星地域防災事業	北星まちづくり推進協議会	149,898	149,898	先に北星まちづくり推進協議会で作成した「防災マップ」を活用し、継続的な防災学習の機会を提供するとともに、自助・共助による防災活動が行える体制の整備、充実に取り組むため、「北星まち協防災フェア」を開催し、その事業を通じて、地域における防災に対する認識の強化を図った。(10/30、88名参加)	87名
		主体	教育大学との連携による北星地域まちづくり事業	北星まちづくり推進協議会	49,897	49,897	北星地域の資源である北海道教育大学旭川校と地域が連携し、世代間交流を図り、学生の若い感性や新しい発想を地域活性化の推進力の一つとすることを目的として、学生との対話の機会を持つための取組として、「北星まち協ミーティング」を全4回(11/8・15・17・24、計180名参加)、「北星まち協委員と教育大学生との懇談会」を全2回(12/21、1/11、延べ23名参加)、実施した。	180名
		地域計			199,795	199,795		267名
末広	7	主体	末広地域交通安全対策事業	末広まちづくり推進協議会	195,849	195,849	地域の交通安全意識の高揚を図り、安全安心な地域づくりを進めるため、小中学校の始業時期に合わせて交通安全啓発のぼりを一斉掲示し、地域全体で交通安全意識の向上を図るとともに、国道40号線において交通安全の旗振りを行うなど交通事故防止を呼びかける街頭啓発活動を行った。(のぼり掲示期間:1/15~24、末広地域各町内会街頭啓発:1/24 参加者35名)	41名
		行政提案 (除雪)	冬の安全安心対策事業	末広まちづくり推進協議会	79,672	79,672	冬期間の生活道路の安全を確保し、安全安心な地域づくりに継続して取り組むことを目的として、除排雪出前講座を行い、他地域での先進的な取組事例等を学んだほか、除排雪パトロールを行い、行政と地域除雪についての意見交換を行った。また、両事業の終了後には、取組の様子を掲載したまちづくり推進協議会ニュースを地域内の町内会で回覧し地域除雪活動に関する普及啓発を図った。(出前講座 1/17 参加者113名、パトロール 2/15 参加者25名)	23名
		地域計			275,521	275,521		64名
春光	7	主体	交通安全対策事業	春光まちづくり推進協議会	98,740	98,740	住民の交通安全についての意識を高めることを目的として、高齢者をはじめとする地域住民を対象に旭川市交通安全運動推進員による交通安全に関する講話集会を2か所で開催するとともに、自転車の交通安全に関する啓発リーフレットを作成し、講話集会の結果と併せて町内会で回覧した。(10/21・25、2日間合計102名(委員・講師含む)参加)	16名
		行政提案 (除雪)	冬の安全安心対策事業	春光まちづくり推進協議会	32,627	32,627	地域住民への除排雪に関するマナー周知と意識向上を図ることを目的として、旭川市土木事業所が発行する除排雪マナー啓発ポスター450枚(UVカットラミネート加工)を春光地域内の町内会を通じてごみステーションに設置した。(12/15~3/13、委員12名参加)	12名
		地域計			131,367	131,367		28名
春光台・鷹の巣	5	主体	多世代ふれあい交流会開催事業	多世代ふれあい交流会実行委員会	172,375	172,375	世代間の交流を深め住民間の絆を育むとともに、地域の公共交通や防災を検討することを目的として、様々な世代、団体が参加するイベント「多世代ふれあい交流会」を開催した。(10/30、約250名(実行委員65名含む)参加)	65名
		行政提案 (通学合宿)	高台通学合宿事業	高台通学合宿実行委員会	78,854	50,000	高台小学校4~6年生を対象に規則正しい生活習慣等の習得を目的として、春光台公民館から高台小学校へ通学する2泊3日の通学合宿事業を地域住民・公民館・行政の協働により実施した。(8/25~27、小学生26名、実行委員38名参加)	38名
		地域計			251,229	222,375		103名

平成28年度 旭川市地域まちづくり推進協議会 事業実施状況

平成29年3月31日現在

地域	協議回数	補助区分	事業名	事業実施団体	事業費総額	補助金額	事業実施内容など	事業に参画した地域住民の人数
神居	5	主体	神居まちづくり・再生(ルネサンス)事業	神居まちづくり推進協議会	200,000	200,000	地域目標の「神居のまちづくり・再生(ルネサンス)」の実現に向けて、3つの重点活動①超高齢化社会に向けて地域を支え合う仕組みづくり②次世代を担う子どもの育成③世代間・地域間交流のための取組に基づき、事業の4本柱として「カムイ(まち協)新聞」の号外を8/3、第13号を12/11に発行、「カムイ! 支所マルシェ」(来場者345名)と「健康パークinカムイ」(参加者400名)は9/10に同日開催、9/24には「かむい遊びの学校」(46名参加)を開催した。また、バスケット・ミニサッカーゴールを7月から10月までかむい中央公園に設置した。	67名
		行政提案(除雪)	神居まちづくり・再生(ルネサンス)事業 地域住民の絆を高め、安心、安全に暮らすことのできる雪に強い快適な生活環境を目指す除排雪推進事業(ルネサンス)	神居まちづくり推進協議会	100,000	100,000	地域住民の絆を高め、安心・安全に暮らすことのできる、雪に強い快適な生活環境を目指すため、町内会や市民委員会が中心となって除雪協力委員会をつくり、毎年幅広い活動をしているが、今年度は協力員52名の半数にタスキをつくる他、除雪協力員等地域住民、行政、除雪センターとの三者により、生活道路やモデル路線の141回にわたる「協働のパトロール」(81名参加)を主な活動内容として実施した。	52名
		地域計			300,000	300,000		119名
江丹別	5	主体	地域の魅力PR推進事業	江丹別まちづくり実行委員会	199,485	199,485	地域の魅力を広く地域内外へ周知し、来訪者の増加、地域のイメージアップにつなげることを目的として、次の事業を実施した。 ①「カムイ支所マルシェ」への出展・パンフレット配布、江丹別そば・チーズ等の地域PRを実施した。(9/10) ②花による景観形成:マリーゴールド等花株を嵐山中央会館等の花壇へ移植、またそれらを植栽したプランター約230台を道道沿道を中心に設置した。 ③江丹別地域紹介パネルの展示:旭川駅観光物産情報センター等で紹介パネルとパンフレットを設置した。 ④「江丹別の景観絵はがき」の作成・配布:地域の方、百寿大学等から応募のあった56点の地域景観を撮影した写真から、江丹別まちづくり実行委員会が選考し、計6種、各400枚作成。支所、パークランド嵐山、地区郵便局及び飲食店等で配布した。	33名
		地域提案	子どもと学校、地域を江丹別で考える『みんなの学校』上映事業	江丹別公民館活動団体連絡協議会	68,824	68,824	地域と学校のあり方や地域での青少年育成を改めて認識する機会として、江丹別小中学校児童、生徒による「江丹別太鼓」の演奏とともに、地域に開かれた学校として知られる大空小学校を描いた映画「みんなの学校」の上映を実施した。(11/6、約140名参加)	8名
		—	「江丹別の暮らしを護る学習会」の開催	江丹別地区社会福祉協議会、神居・江丹別地域包括支援センター	—	—	市防災課による地域の防災対策講話、劇団”絆”による認知症をテーマとした劇・講話を実施した。(11/26、37名参加)	8名
		地域計			268,309	268,309		49名
永山	6	主体	高齢者等の徘徊に係る発見ネットワーク構築事業	永山SOSネットワーク推進委員会	99,994	99,994	徘徊者を早期に発見し、生命の安全を守るため、地域団体及び福祉施設等からなるネットワーク組織において、対象地域を永山第二地区農村部への拡大に取り組み、地域住民への周知啓発用チラシ(350部)の配布、地域ボランティア等研修会の開催(8/20、80名参加)、模擬連絡・捜索訓練の実施(9/14、10/28)を行った。	70名
		主体	永山地域文化振興事業	永山地域文化振興実行委員会	19,992	19,992	地域住民等の郷土愛の醸成及び地域力の強化につなげるため、永山地域歴史保存(聞き取り調査、永山地域文化関係文献等の整理リスト作成)に係る取組と、古典芸能の若年層普及に係る取組(2/12、30名参加)を実施した。	40名
		主体	永山地域医療専門家連携事業	永山地域医療専門家連携実行委員会	29,759	29,759	地域住民等の健康維持・増進につなげるため、医療専門家連携による健康維持・増進に係る啓発紙を1,300枚作成し配布した。	18名
		地域提案	永山南きづな推進事業	永山南きづな推進委員会	246,766	232,000	地域の福祉・生活の向上を目的に、市民委員会、社会福祉協議会、民生児童委員連絡協議会で組織する永山南きづな連絡協議会(平成25年度結成)と、新旭川・永山南地域包括支援センターが連携し、子どもから高齢者まで、地域全ての住民が気軽に集える居場所づくりとして「きづなカフェ」を開催した(6回、計約200名参加)。 また、認知症等徘徊対策に係るフォーラムと(10/14、83名参加)、「ヒトココ」という近距離探索機を活用した習熟訓練を開催し(3/24、25名参加)、認知症等徘徊対策に取り組んだ。	30名
		行政提案(エコ)	「ながやま 農家の食卓でエコなお食事会」事業	「ながやま 農家の食卓でエコなお食事会」事業実行委員会	156,700	100,000	エコな地域づくりを進めるため、あさひかわ農協女性部が進めてきた地産地消事業と連携し、エコな料理教室とエコの啓発を3回実施した。(9/25、11/25、2/16、約170名参加) ※ゼロ予算事業として、あさひかわ農協女性部主催の料理教室にて、エコの啓発を実施した。(10/25、20名参加)	17名
		行政提案(エコ)	「ながやま食べきり協力店マップ」事業	「ながやま食べきり協力店マップ」事業実行委員会	100,420	100,000	エコな地域づくりを進めるため、旭川大学の江口ゼミが長年取り組んできた永山地域商店街マップに、エコに取り組むレストラン等を調査し、「永山地域エコマップ」を1万部制作し配布するとともに、協力店には協力店ステッカーを掲示するなどの取組を実施した。	18名
		行政提案(除雪)	冬の生活道路を安全に守る除排雪推進事業	永山冬みち守り隊	34,455	34,455	冬期間における安全な生活道路の確保を図るため、旭川第三地区で開始された自主除排雪に係る取組を、永山第二地区、永山南西地区でも展開し、住民向けの啓発(勉強会の実施)、危険箇所等のパトロール、自主除排雪の3本柱に取り組むとともに、今年度は間口排雪(除雪弱者対策)にも試行的に取り組んだ。	40名
		行政提案(除雪)	地域自主除排雪事業	永山冬みち守り隊	94,770	94,770	冬期間における安全な生活道路の確保に係る取組を永山南地区などで拡大して実施するため、従事する地域ボランティア用スタッフジャンパー等活動必需品を準備するなど取組を強化し、地域自主除排雪を実施した。	30名
		—	永山地域経済活性化中長期計画策定事業	永山地域経済活性化中長期計画策定検討会	—	—	地域を良く知る地元住民自らが地域経済活性化に係る中長期的なビジョンを作っていくべきである、というまち協内議論から、平成28年度は、あさひかわ商工会、旭川大学、旭川信用金庫、まち協の4者で、経済活性化議論の進め方を中心に6回の会議を開催した。結果については報告書にまとめ、関係機関等に報告した(次年度の礎にする。)	20名
		地域計			782,856	710,970		283名

平成28年度 旭川市地域まちづくり推進協議会 事業実施状況

平成29年3月31日現在

地域	協議回数	補助区分	事業名	事業実施団体	事業費総額	補助金額	事業実施内容など	事業に参加した地域住民の人数
東旭川	4	主体	東旭川の歴史遺産や地域資源情報の収集と発信事業	東旭川まちづくり推進協議会	199,991	199,991	昔の生活を知る手がかりとなる様々な文書や記録や用品の調査・確認を行うとともに整理・保存を行い、後世に伝えていくため、データ化を行った。(兵村記念館所蔵資料の整理・データ化作業15回, 903件) また、郷土への愛着を高めるため、地域に存在する歴史遺産や地域の魅力を高めるイベントや行事について情報を収集し「東旭川まち協だより」を発行・配布した。(4回発行(8, 10, 12, 2月), 約800部)	24名
		地域提案	東旭川地域の歴史の語り部から次世代への伝承	東旭川まちづくり推進協議会	134,562	134,562	先人の努力や業績が現在の東旭川の生活にどのように繋がっているのか認識を深めてもらうため、歴史に関する記録誌の発行に向け、編集方針の検討を行った上で高齢者の貴重な体験等の聞き取りを行い、原稿集を作成した。(編集会議2回開催～8/29・9/14, 編集委員6名(すべて委員), 聞き取り相手方21名)	27名
		地域計			334,553	334,553		51名
神楽	7	主体	災害時における避難用具の整備と防災意識の高揚事業	神楽まちづくり実行委員会	199,584	199,584	夜間に災害が起きた時に備えるためにヘッドライトを購入(112個)し、各町内会(47町内会)に配置するとともに、自主防災組織未結成町内会への結成働きかけなどにより、防災意識の高揚を図った。	15名
		地域計			199,584	199,584		15名
緑が丘	8	主体	悪質商法による被害防止講習会事業	緑が丘まちづくり推進協議会	13,330	13,330	高齢者が安心して暮らせる、暮らしやすくなるような情報の提供を行うことを目的として、地域住民を対象とした「悪質商法による被害防止講習会」を開催した。(1/27, 40名参加(うち委員7名))	15名
		トライアル	地域ネットワークの形成による健康づくりモデル事業	緑が丘まちづくり推進協議会	140,871	140,871	地域包括ケアシステムの先行モデル地区として、地域の団体と連携して健康づくり事業を実施し、地域での健康意識の醸成など健康寿命の延伸を図ることを目的として、健康講座「認知症予防とロコモティブシンドローム」を開催した。(10/30, 35名参加(うち委員7名)) また、地域住民の健康への関心や必要とされる地域活動等についてアンケートを実施し、地域ニーズを調査した。	26名
		地域計			154,201	154,201		41名
西神楽	5	主体	子育て支援事業(こどもと大人のふれあい事業)	西神楽まちづくり推進協議会	104,904	104,904	地域の子どもと大人のふれあいの機会をつくり、地域で子どもを見守り育む意識を醸成することを目的に、子どもたちと大人と一緒に昔の遊びや、フロアカーリング、動物園見学等を行う「西神楽子どもふれあい教室」を開催した。(9/10, 小学生24人を含め59人参加(うち委員等15名))	39名
		地域提案	健康推進事業(健やかライフ応援塾の継続事業)	西神楽まちづくり推進協議会	131,057	131,057	高齢化率の高い西神楽地域において健康寿命を延ばすことを目的に、腰を痛めない上手な介助の方法等を実技体験を交えて学ぶ健康教室を開催し(10/29, 45人参加(うち委員12名)), 介護が必要になったときにどんな事業所があるのかを学ぶ事業所訪問見学会を開催した。(11/11・18の2回, 計28人参加(うち委員6名))	32名
		地域計			235,961	235,961		71名
東鷹栖	6	主体	健康に対する意識を高める事業をはじめとする主体的な地域づくり事業	東鷹栖まちづくり推進協議会	200,000	200,000	地域住民の健康に対する意識を高めることを目的に、次の事業を実施した。 ①健康カレンダーを2,000枚作成し、全戸配布した。 ②健康カレンダーを活用した健康教室を保健所、地域包括支援センターと連携し4回開催した。(6/23, 10/27, 1/26, 3/23, 計132名参加(うち委員11名)) ③②の開催案内チラシ(全戸配付)に、支所、地域包括支援センターからのお知らせ(地域包括支援センター開放事業など)のほか、保健所と連携し保健師通信を掲載し、周知した。 ④保健所と共催で健康教室お食事編を開催した。(10/20, 35名参加(うち委員7名)) ⑤②の様子を支所、公民館、地域包括支援センターに、④の様子を支所内に掲示した。(健康カレンダー、レシピを持ち帰り可とした。)	15名
		地域提案	地域住民が地域を再認識し地域への愛着を高める事業	東鷹栖まちづくり推進協議会	365,000	365,000	地域資源を活用し地域への愛着を高めることを目的として、地域住民に親しまれている鬼斗牛山(市民東鷹栖スキー場)に、「北」の文字のイルミネーションを設置しライトアップ(8/11～20)を実施した。(設置・撤去45名参加(うち委員13名))	15名
		行政提案(エコ)	エコなせつけんづくりを親子で楽しみながら東鷹栖の環境保全を考えよう	東鷹栖まちづくり推進協議会	99,882	99,882	世代間の交流を深めながら地域の環境保全を考えることを目的として、地域の小学生の親子を対象に家庭から出る廃油を活用したせつけんづくりを行った。(1/14 参加者35名(うち委員9名))	15名
		地域計			664,882	664,882		45名
全体計			4,293,917	4,163,115		1,379名		